

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成28年 6月24日

和歌山県知事 殿

提出者

住 所 和歌山県御坊市塩屋町南塩屋字富島1-3

氏 名 関西電力㈱ 御坊発電所

所長 宇土 剛彰

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0738(23)2811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成27年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	関西電力株式会社 御坊発電所
事業場の所在地	和歌山県御坊市塩屋町南塩屋字富島1-3
事業の種類	33 電気業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,835 t	全処理委託量	1,762 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	292 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,762 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	3,073 t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄

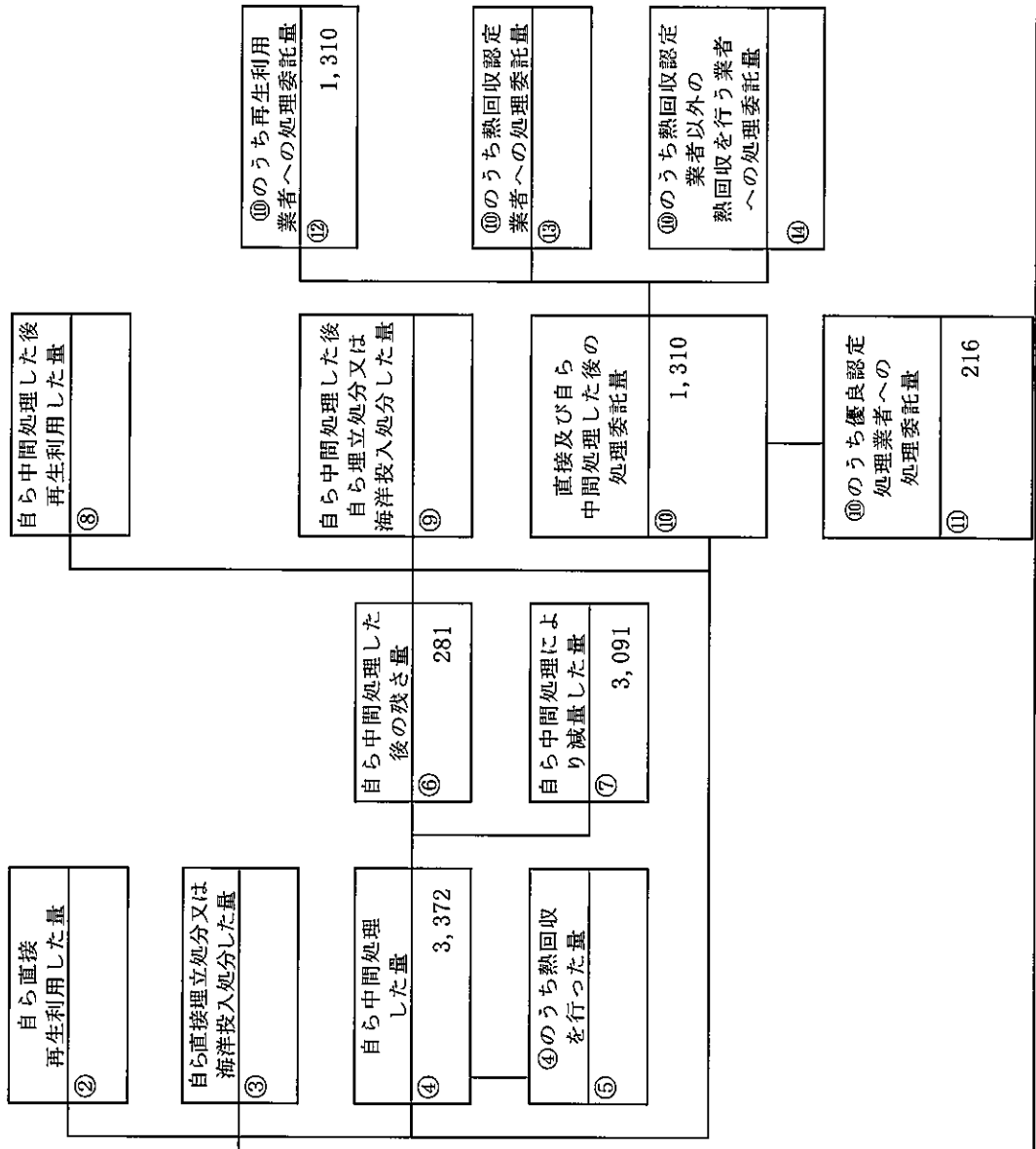


(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：別紙2のとおり)

不要物等発生量	有償物量	
排出量 ①	4,401	
①+⑧自ら再生利用を行った量		実績値 4,401
⑤自ら熱回収を行った量		
⑦自ら中間処理により減量した量		3,091
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		
⑩全処理委託量		1,310
⑪優良認定処理業者への処理委託量		216
⑫再生利用業者への処理委託量		1,310
⑬熱回収認定業者への処理委託量		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

平成27年度 廃棄物処理目標

	単位(t)												
	委託量					自己中間処理後直接埋立処分又は海洋投入量	自己中間処理後再生利用量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑥自己中間処理残量	④自己中間処理量	自己直接埋立処分又は海洋投入量	自己直接再生利用量	①産業廃棄物発生量
	⑩中間処理量	⑨再生量	⑧優良認定処理業者	埋立量	直接埋立量								
(a) はいじん	EPF灰	1129	1129										1129
(b) 汚泥	排水処理汚泥	3341	268	3073	268				3341				3341
	脱硫石膏 (有価物は除く)	92	92										92
(c) 燃え殻	その他汚泥	121	121										121
	重原油燃焼灰	36	36										36
(d) 廃油	タールピッチ類、油ウエス	3	3										3
	含油スラッジ等	0	0										0
(e) 廃プラスチック	廃潤滑油等 (有価物は除く)	17	17										17
	プラスチック複合材	15	15										15
(f) 金属屑	金属屑 (有価物は除く)	24	24										24
(g) ガラス・陶磁器屑	ガラス屑、保温材	57	57										57
	小計	4,835	1,762	3,073	268			3,341					4,835
			1,762	292									292

[目標量と実績量との乖離理由]

平成27年度 廃棄物処理実績

	① 産業廃棄物発生量	自己直接再生利用量	自己直接処理処分又は海洋投入量	④ 自己中間処理量	⑥ 自己中間処理残さ量	⑦ 自ら中間処理により減量した量	自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後直接埋立処分又は海洋投入量	委託量				
									中間処理			埋立量	
									⑩ 中間処理量	⑫ 再生量	⑪ 優良認定処理業者		
(a) ばいじん	711	0	0	0	0	-	0	0	711	711	-	0	0
	3,372	0	0	3,372	281	3,091	0	0	281	281	-	0	0
(b) 汚泥	10	0	0	0	0	-	0	0	10	10	-	0	0
	214	0	0	0	0	-	0	0	214	214	-	0	0
(c) 燃え殻	63	0	0	0	0	-	0	0	63	63	-	0	0
	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0
(d) 廃油	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0
	1	0	0	0	0	-	0	0	1	1	-	0	0
(e) 廃プラスチック	2	0	0	0	0	-	0	0	2	2	-	0	0
(f) 金属屑	18	0	0	0	0	-	0	0	18	18	-	0	0
(g) ガラス・陶磁器屑	10	0	0	0	0	-	0	0	10	10	-	0	0
小計	4,401	0	0	3,372	281	3,091	0	0	1,310	1,310	216	0	0

[目標量と実績量との乖離理由]